



# 希望 光 明日

学校だより 令和7年2月6日 校長 大澤由美子

[ 学校教育目標 ]

心豊かな生徒

意欲的に学ぶ生徒

たくましく生きる生徒

## 「いつでもできる」を目指して自分を育てる

昨年度の朝会で「人生は敗者復活戦」という話をしました。この言葉は仙台育英高校野球部の須江航監督の言葉です。失敗を許容し、成功からは学べないことを失敗から学ぶ。「うまくいかない時」「負けた時」「失敗した時」、それで終わりではなく、その後どうするかを考えることが大切。勝っている時にはわからないことがある。負けることで学んだり、気付いたりすることもある。それを、その後に活かしていくことが大事。それこそが、成長のチャンス。このような内容の話をしました。

先日、この須江監督の講演を直接聞ける機会がありました。たくさんのお話を伺ったのですが、その中から特に印象に残った2つの言葉を紹介したいと思います。

一つ目は「**誰もあなたのことは育ててくれない。あなたを育てるのはあなただけ**」という言葉です。もちろん人は一人で大きくなったわけではありません。生まれた時から見守り育ててくれたご両親やご家族、その他多くの方のお陰で一人前になっていきます。ここで、言っていることは「自分を成長させられるのは自分だけ」という内面の変化のことを言っているのだと思います。自分が自分を成長させよう、育てようと思わなければ周りが何をしても変わってはいかないということだと思います。本校の基本理念「あこがれと誇り～自らの力で自らを高めていく学びの場」の中の「自らの力で自らを高める」にも通ずるものだと思います。

二つ目は「**習得、成長していくステップは、わかる→できる→いつでもできる→望まれるようにできる**」という言葉です。まず「わかる」。わかったら次の段階として「できる」。さらに次の段階は「いつでもできる」。たまたまできたとか、できる時もあればできない時あるというのではなく、常にできる。いつでもできる。そこからさらに高めていくと「望まれるようにできる」あるいは「自分で望んだようにできる」が実現するということだと思います。まず取り組むべきことは、「いつでもできる」を目指して自分で自分を高めていくことだと思います。学習、部活動、日常生活のルールやマナー等、広く全部に言えることです。

令和6年度も残り2カ月弱となりました。3年生の卒業式までは1ヶ月半です。生徒達には、自分をより高めた状態で来年度のスタートを切れるように一日一日を大切に、自分で自分を育ててほしいと思っています。